

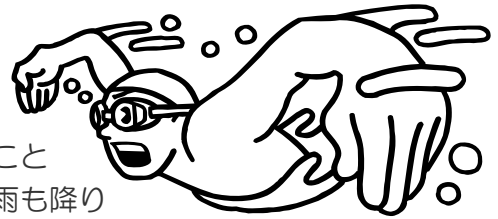


がんばった水泳大会！

8月31日（月）、3年生の水泳大会が行われました。あいにくの空模様でしたが、中学校生活最後の水泳大会ということで、序盤から白熱したレース展開となりました。中盤以降は小雨も降り肌寒い中、気温に負けない熱い応援と双方譲らぬゲーム展開で会場は大いに盛り上がりました。

本大会では大会新記録が続々と出て、この大会に向けた意気込みが感じられました。

結果は1組が優勝となり、雨の降りしきる中での表彰式となりました。しかし、両組とも力を抜くことなく力の限りを尽くしてくれたと思います。次は体育大会です。この勢いを次に繋げてほしいと思います。



＜校長先生講評＞（急な雨でお話していただけなかったのでコメントを頂きました。）

「3年生最後の水泳大会、感動する素晴らしい大会でした。新記録が続出し、応援も盛り上がり、クラスが一つになって応援した結果が、最後のリレーのまれにみる接戦につながったのでしょう。中学校の行事が一つ一つ終わっていくわけですが、次の行事に向け全力を尽くしましょう。」

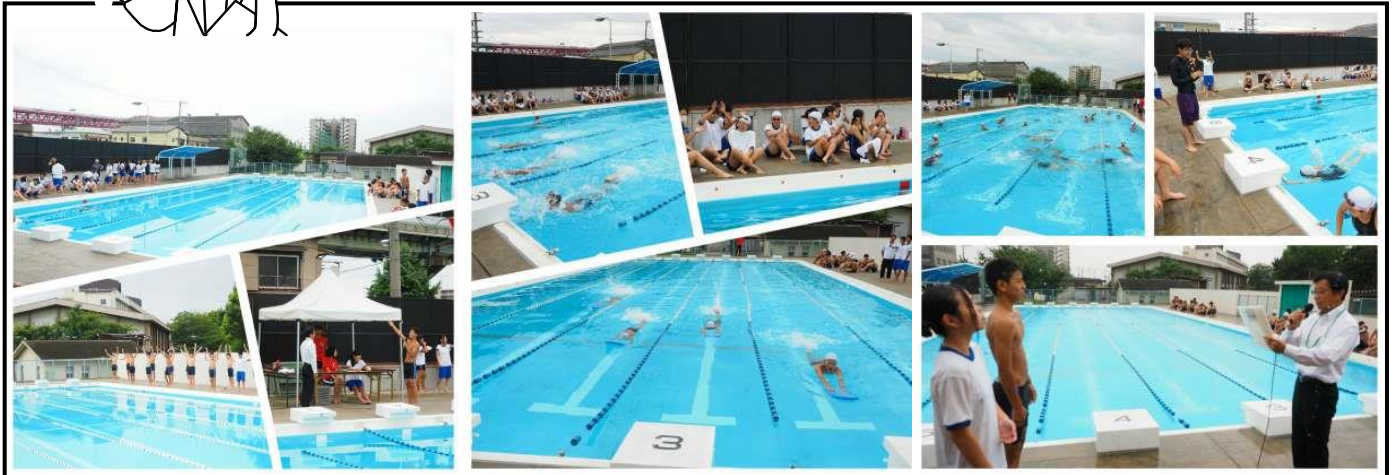


新記録がたくさんでした！！

25m 自由形：2組石井有羽輝（21'10）♡ 25m 平泳ぎ：1組大野颯太（22'06）
 25m 背泳ぎ：2組大林智慧（26'00）♡ 25m 背泳ぎ：2組重吉一誠（20'346）
 25m 犬かき：1組松本光司（25'47）♡ 50m 平泳ぎ：1組濱口莉奈（53'03）
 25m1 分間競技：1組中村昇一郎（60'40）
 女子 25m×4 リレー：1組濱口莉奈・矢野瑞姫・坂東美咲・上野未来（1'23'84）
 男子 25m×4 リレー：2組松本 蓮・堤 俊介・重吉一誠・神垣忠政（1'05'96）

HPも
見てね♡

HPは
カラー



進路決定をする2学期 !! part2

本日、第2回実力テストが行われました。「あ～！もっとやっておけばよかった！」という声が聞こえそうですが、**そう！この気持ちを忘れないで**、次の第3回目に向け、今から学習計画をしてください。とりわけ行事の多い2学期です。無計画では、効率が悪いですよ。

今週の予定



9月1日（火）実力テスト②

2日（水）6限/学活 体育大会・文化祭取り組み等

4日（木）放課後 生徒協議会

5日（金）6限/学活 体育大会・文化祭取り組み等

再点検！学年目標！

学年スローガン

- ・礼を正す（挨拶・正しい姿勢など）
- ・場を清める（身の回りの整理整頓・清掃奉仕活動）
- ・時を守る（5分前励行・10分前行動）

学年努力目標

- ・体幹を鍛えよう！（インナーマッスルを鍛え正しい姿勢の保持）

学年合言葉

- ・「うかい」をするな！

う：うわさばなし

か：からかい

い：いじめ

みんながいきいきと楽しい学校生活になるように！

新・心のサプリー

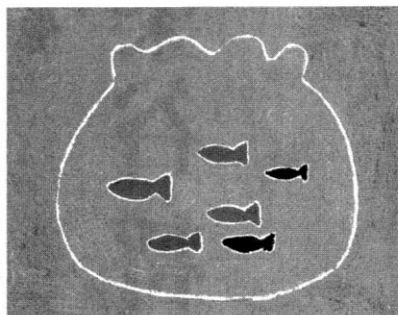
海原純子

まず作業現場では「四つのSが大切」といわれている。「整理」「整頓」「清潔」「清掃」なのだ

中国で大規模な爆発が起き、大量の化学物質が流出した。倉庫をもつ企業のリスクアセスメントが機能していないことは明らかだ。日本ではありえないことだと思いつながら報道をきいた。企業の安全管理、作業環境管理、作業管理などについては厳しく法律で基準が設けられている。つい先日、そうした産業医学の勉強会があったので参加してきたが、産業医学分野の取り組みは日常生活に応用できるものがいくつもあるので紹介したいと思う。

そうである。何故ならこれらにより、緊急時にいざこれが必要と思つてとり出そうとした時の速度と時間に、差が生じるからだという。ひたひたなか総合病院の中谷敦センター長によると、きちんと整理され、整えられたところから必要なものをつかむときは2・0TMUですが、乱雑に散らかったところから必要なものをとり出してつかまうとすると12・9TMUかかる。6倍も時間がかかるのだそうである。TMUとは時間の単位で、1TMUは0・036秒、1秒

四つのS



題字・イラスト 北村人

は2778TMUである。これは作業効率に大きく影響する。日常生活では関係ないなどと思われるかもしれないが、緊急時、たとえば台所で急に天ぷら油に火がついたり、包丁で手を切ったり、足の上に熱湯をこぼしたりと、いつでもリスクは潜んでいる。そんな時消火器や包帯はどこにあるかきちんと整理しておけば、いわば1秒を争う時に明暗を分ける。停電で懐中電灯を探そうと思つてもどこにあるかわからない、などという経験のある方もいらっしゃるのでは。さて、作業現場で有害化学物質が充填している時はマスクを装着する。ところが99・9%防御できるはずのマスクでも、きちんと装着しないと60%以上ももれていくこともあり、何の意味もない。どのくらいもれているかを計測するマスクフィッティングテスターという機械があり、実際にためしてみると、あ

われないマスクの場合実に100%もれていておどろいた。あわれないマスクの原因はサイズである。女性や子どもで顔が小さいとすき間がでやすい。花粉症対策や防災対策でマスクを用意する場合、お子さん用など注意して選んでおく必要がある。職場の事故で多いのは転倒と転落で、とくに60歳を過ぎると頭から落ちてしまうのでリスクが高いという。また、背が屈かない場所に置いたものをとろうとする作業が腰に負担をかけ、かつ踏み台を置いてものをとる時に事故が起こりやすいそうだ。台所でたなの高いところに置いてあるものをとりながらの作業、改めて気をつけたいものだ。当たり前といえば当たり前だが、当たり前といえは当たり前かできない。でもそれがなかなかできない。しかし、小さな積み重ねを怠る心の先に大きな事故が起こる。事故というのは、実は心の問題が占める割合が大きいかもしれない。

- S ... せいり 整理
- S ... せいとん 整頓
- S ... せいけつ 清潔
- S ... せいそう 清掃

(日本医大特任教授)